

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る / 学ぶ / 助かる /
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス]
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2018.8
第35号



Temporary Exhibition



武蔵国分寺跡資料館 平成30年度夏季企画展

旧本多家住宅長屋門公開記念－新規収蔵品展－

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）
- 期 間 平成30年7月28日（土）～9月17日（月）
- 会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 入 館 料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休 館 日 月曜日（祝・振替休日の場合は直後の平日）



旧本多家住宅長屋門二階の整理前状況（平成5年3月）

旧本多家住宅長屋門は、保存修理工事を行い、平成30年4月より一般公開を開始しました。長屋門内から回収した資料には、未だ皆様の目に触れていないものが少なくありません。

本展では、そうした未公開資料を中心に、様々な収蔵品の魅力を紹介します。（米村 創）

【展示資料】長屋門生活資料・医療用資料・貸付会社「国盛社」資料・発掘出土品資料



旧本多家住宅長屋門（昭和40年代頃）南から



国盛社貸附所
看板



長屋門入口
祈禱柱



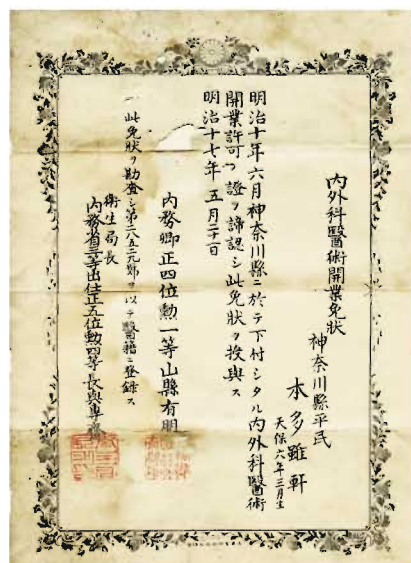
生薬用刻み包丁



膏薬の容器



竹製の猿



本多雖軒 内外科医術開業免状

市内遺跡(埋蔵文化財包蔵地)説明板の設置

市内には旧石器時代から近世までの遺跡が 48 箇所あります。これらの遺跡の内、旧石器・縄文時代を中心とする 4 つの遺跡について、平成 29 年度に現地に説明板を設置しました。当時の人々が野川の源流となる豊富な湧水と国分寺崖線の台地を求めて集まり、生活を営んでいた場所を周辺の地形を感じながらぜひ散策してみてください。

熊ノ郷遺跡



西恋ヶ窪4-1 (西恋ヶ窪ゆうゆう公園内)

熊ノ郷遺跡で旧石器の存在が知られたのは、日本で初めて見つかった旧石器時代遺跡として有名な群馬県岩宿遺跡における発掘調査の 2 年前のことでした。発見後すぐに本格的な発掘調査が実施に至らず、まぼろしの日本最初の旧石器時代遺跡発見の地と呼ばれています。

恋ヶ窪遺跡



東恋ヶ窪1丁目 (東恋ヶ窪でんしゃ公園内)

縄文時代中期の大規模な集落遺跡で、これまでに 160 軒を超える住居跡やおとし穴、土壌墓などが発見されています。また、出土した縄文土器や食糧確保の道具・装身具などの石器、土偶などの多種多様な遺物から、当時の生活様相を知ることのできる貴重な遺跡です。



恋ヶ窪東遺跡



本町4-17 (本町4丁目公園内)

縄文時代の草創期から晩期にかけて連綿と続く遺跡で、住居跡はあわせて 200 軒ほど確認されています。また、遺跡南端の調査では 1 万点以上の石器が出土し、石器製作場所が発見されるなど、旧石器時代の人々の痕跡も色濃くみられる遺跡です。

現地では説明板とともに縄文時代の柄鏡形敷石住居跡のレプリカを見学いただけます。

本町(国分寺村石器時代)遺跡



本町2-1 (国分寺駅北回自転車駐車場前)

甲武鉄道(現中央線)開通後の明治 26 年(1893)に鳥居龍蔵らの調査によって発見されます。このことは翌年に「武蔵国北多摩郡国分寺村石器時代遺跡」(『東京人類学会雑誌』)と題して報告されました。この際、考古学の学術用語となっている「遺物包含層」(遺物が含まれている地層)が初めて使用され、本町遺跡はその命名の地として、考古学史に残る遺跡です。(中道 誠)

江戸時代の土木遺産「恋ヶ窪村分水」が市の重要史跡になりました

現在の国分寺市域は、江戸時代の旧10ヶ村が明治22年に合併して、近代の国分寺村が誕生したことで形成されました。このうち、野川源流域の湧水地を囲む国分寺村と恋ヶ窪村以外の8ヶ村は、享保年間（1716～36）以降に開拓された新田村です。古くから水の確保に苦労してきた武蔵野で新田開発が進んだ背景には、江戸市中への給水を目的として承応3（1654）年頃に開通した玉川上水の恩恵が大きいといえますが、市内では南野中新田分水（後の砂川用水）をはじめとする幾つかの分水が巡っています。このようななかで西恋ヶ窪一丁目には、現在も大きな空堀が約100mの長さで残されています。通称、「恋ヶ窪用水」と呼ばれる周辺には樹林地が広がり、このほど市では緑地整備工事に伴い文化財の調査を行いました。

この用水は、国分寺村外二ヶ村組合分水と呼ばれ、国分寺村・恋ヶ窪村と貫井村（今の小金井市）の3つの村が、明暦3（1657）年に田で使う用水として、玉川上水から引水することを幕府に願い出て開削したものです。これによって恋ヶ窪村の水田は、正保年間（1644～47）に3斗9升2合であった石高が、延宝6（1678）年には8斗8升7合3勺とほぼ倍増するに至りました。なお、明暦3年には、砂川分水（現立川市）、小川分水（現小平市）も飲水用として開削され、これら3つの分水は、承応4年に通水した野火止用水に次いで古い玉川上水の分水です。

当初の分水口は、小川新田地先（西武国分寺線鷹の台駅南方）にありましたが（図1のA）、明治3年に玉川上水の分水口が統廃合されると砂川用水から水を引くようになりました（同図のB）。また、府中街道の恋ヶ窪五差路は「堀分」という地名で以前は呼ばれ、この辺りで貫井村・国分寺村・恋ヶ窪村分水の3本に枝分かれしました（同図のC）。

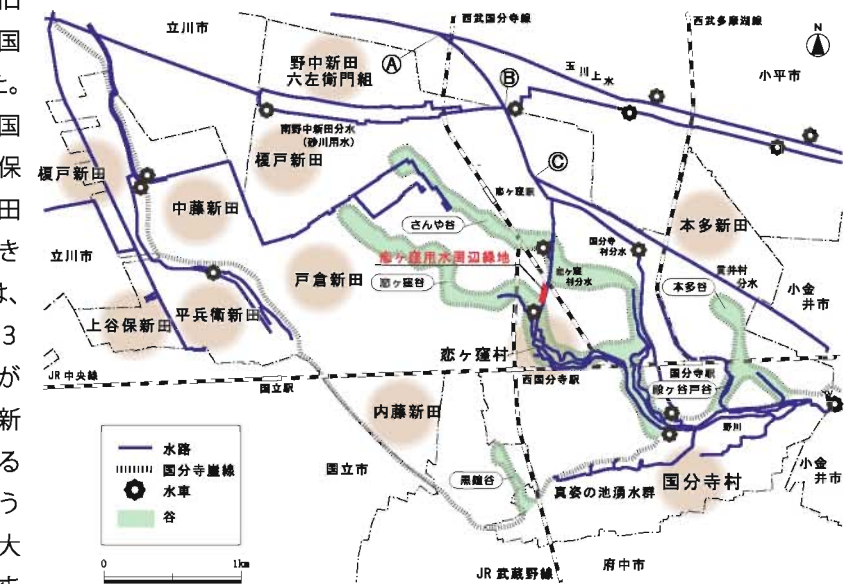


図1 市内の用水と恋ヶ窪村分水（恋ヶ窪用水周辺緑地）位置図

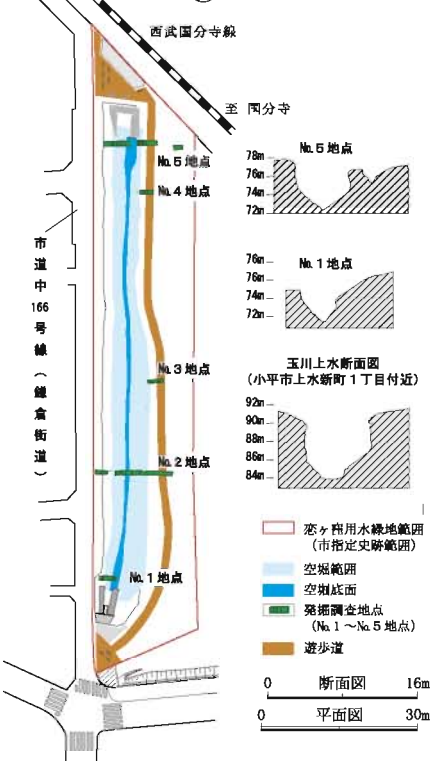


図2 恋ヶ窪村分水の堀の規模と断面図

平成29年6月に発掘調査を行ったところ、堀の断面は葉研状で、堀幅は上面で約6～9m、深さは5.2～5.5mを測り、堀底は北から南に向って低く傾斜している様子が判りました。この大きさは、玉川上水の本流にも匹敵する規模ですが、実際に流れていた水は堀底から50cm位の深さで、堀の規模が大きい割に水量自体は少なかった印象があります。

それでは何故、これほどまでに堀を深くする必要があったのでしょうか。それは、分水口から南方の恋ヶ窪村まで水を落とすのに、「さんや谷」と「恋ヶ窪谷」と呼ばれる2つの谷に挟まれた標高70mほどの小高い丘を越えなければならず、この樹林地一帯が「丘」に相当する地形であるためと思われます。

恋ヶ窪村分水は、後世にコンクリート護岸されることもなく、江戸時代の様子が今でも良好に残っているため、開削後360年目にあたる平成29年に国分寺市の史跡として指定されました。

今年7月には緑地整備工事も終わり、現地には散策路・ベンチ・案内板等を設置していますので、ぜひ散歩ついでに市内に残る貴重な江戸時代の土木遺産をご覧ください。（依田亮一）



恋ヶ窪用水周辺緑地入口

「夏休み子どもブッククイズラリー」開催のお知らせ

小学生を対象に、教育委員会3課（図書館課・公民館課・ふるさと文化財課）連携企画として「夏休み子どもブッククイズラリー」を開催しています。武蔵国分寺跡資料館をはじめ、会場ごとにテーマを決めて本の展示とクイズを用意しています。クイズに挑戦して4つ以上スタンプを集めた小学生にはプレゼントを進呈していますので、ふるってご参加ください。

【会場】

本多図書館、本多公民館、恋ヶ窪図書館、恋ヶ窪公民館、並木図書館、並木公民館、もともち図書館、もともち公民館、光図書館、光公民館、武蔵国分寺跡資料館

【開催期間】

平成30年7月21日（土）～8月26日（日）
※プレゼントはなくなり次第終了です。



来館者数

2009年10月18日～2018年6月末日

来館者数累計 120,788名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
5	2,080	27
6	1,172	26
計	3,252	53

【5月～6月の学校見学】

〔学年〕、〔人数〕、小＝小学生、中＝中学生、高＝高校生、大＝大学生、院＝大学院生

<市内>

第1小学校〔小6〕(65)、第2小学校〔小6〕(137)、第3小学校〔小6〕(141)、第6小学校〔小6〕(101)、第7小学校〔小6〕(60)、第8小学校〔小6〕(68)、第9小学校〔小6〕(87)、早稲田実業学校初等部〔小6〕(111)、早稲田実業学校中等部〔中・高〕(272)

<市外>

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数 小金井市立第4小学校〔小6〕(100)、国士舘大学考古学研究室〔大〕(36)、立川女子高等学校〔高3〕(27)

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



■開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
一般……………100円（年間パスポート1,000円）
中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード